

音楽ディレクターである福山氏が、京都学生人口約30万人の中から「京都版モーニング娘。」を作り上げる事を目標とした本企画。既に1号を連載し、関西圏では本コーナーにスクワインクされることが、デビューへの登壇門とされていると評判。

Vol.22



アイドル発掘

リサーチんぐ娘。

いつも好きなミュージシャンは？と問えば「あゆ！」と神問答の如く返ってきたけど、今回のリサーチんぐ娘は「ドリカム！」でした。というわけで、ギャル系続きだったリサーチんぐ娘。に新風を吹き込んでくれるのが真紗子ちゃん、その答えは…

欲しいものはブランド あなたおそろしや…この娘。

福山：今回のリサーチんぐ娘、真紗子ちゃん、スタイルがかなり良かったんじゃないですか？身長も結構あったし、ちょっと前まではバスケットに入ってたって言ってましたよ。

編集長：そやな、でも今回は容姿がええとかそんなんじゃないや、久々に違うカテゴリの娘やったやん、そこ良かったわ〜。

fb：ギャル系というかegg系とか…、そんな系統とは違いましたよな。雑誌でいえば「Can Cam」みたいなね。

編集長：そやねん、都会的な感じがしてん、遊び方もちょっと背伸びしてる感じがええわ〜。趣味が「京都のカフェ巡り」、OLが雑誌片手に嬉しそうにカフェ巡りなんかしてたら一言ゆうたる思うけど、これまた高校生がしてるとこ可愛いねん(笑)

福山：このあいだリニューアルした三条御幸町の「Red Rubber Ball」のカフェモカがお気に入りって言ってましたね。

fb：あと、「Ace Cafe」も好きって、でも、ココ好きなのは雰囲気云々よりもスタッフがカッコイイからみたいです。

編集長：それまた可愛い〜や〜ん(笑)でも、高校生がエルメスのエールバッグ持ってるのはちょっと可愛いなないな〜。

fb：いや、やっぱりその年頃ってブランドに憧れるんですって！ちょっと背伸びしてても色々と身につけたいんですよ、実際アタシもそうだったし。

福山：でも、真紗子ちゃんの場合、持ち物だけじゃなかったですよ、行きたい大学は神戸大、そして将来はカウンセラーになりたいって。

編集長：エライやん、ちゃんと夢もってて、何も考えんと遊んでるだけの高校生より、シッカリしてるやん。

福山：いやいや、その理由が「神戸大」「カウンセラー」っていうブランドネームが欲しいからって…(苦笑)

編集長：なんやそれえええええ？

福山：だからブランド大好きなんですって(笑)



Entry. 0026

大田 真紗子

おた まさこ
1987.2.1生まれの17歳
身長167cm B.81W.58H.80 AB型
「今度はパーキンが欲しいわん」という真紗子ちゃん。好きな女優は「松嶋菜々子」。ハイっなんか納得です。

「アイドル発掘リサーチんぐ娘。」では現在、うら若きアイドルの卵を大募集！ 自撮り他撮りは問いません、興味のある方はdtdt@m21.or.jpまでどしどし写真メールをお送り下さい。

POWER PLAYSOUND

Music is moistened our life.
Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.



消えた3ページ / ロボピッチャー

WARNER INDIES NETWORK 1500円(税込)

加藤氏が大学時代に掛け持ちしていた各バンドのメンバー・有田さとこ、青原、伊藤忠之の4名で結成したロボピッチャー。今回のアルバム制作にあたっては加藤氏が書きためた楽曲から、バンドサウンドに合うものを6曲をセレクト。4月11日(日) CLUB METROにて、はじめてきよし、サンプリングサンなどのアーティストを迎えたいのレコ発イベントを開催



FEED YOU!
LIMITED EXPRESS (has gone?)

「僕らと同じ京都発の若手バンドですが、僕が知る限りで今最もカッコいいバンド。僕自身、英語の歌詞ってメッセーが伝わりにくいものだと思ってきましたけど、この1枚を聴いた時グループは言葉を超越するんだなあって実感しましたね」



Usual tone of voice
Air

「Airの中で一番のお気に入りのコレ、きめ細かい音作りがされてて、ずっと聴いても飽かない、バランスのとれた1枚なんです。飛び抜けた名曲とかヒットソングはないけれど、どんな時に聴いても心地いいんですよ」



ZIGGY STARDUST
DAVID BOWIE

「70年代を代表する名盤ですね。高校時代に友達の家で初めて聴いて歌詞を訳した時、『音楽ってここまですごいものか!』と感嘆が走りまわりました。1枚で一つの物語が完結するという独特の世界観に、少なからず影響を受けましたね」

刹那の気持ちの断片を
繋ぎ合わせて感じる音物語



世界にはボクらが必要

加藤 隆生

/ロボピッチャー

デモテープを持ち込んで、あわよくばヒット路線に乗りたい…なんて他力本願さはロボピッチャーの辞書には見当たらない。「やれるだけ自分たちの力でやりたい!」と、結成直後の2002年秋には京大西部講堂でのライブイベント「ポロフェスタ」を同じ京都出身のLIMITED EXPRESS (has gone?) などと共同開催。クラムボン、ギターウルフ、デキシード・ザ・エモンズなど、ビッグネームと同じ舞台上に立って、活動の主導権は自分たちが握らないと気が済まないタチなのだ。

そんな地道な音楽活動が実を結び、この度初のミニアルバム「消えた3ページ」をリリース。ロックだけど何処かジャジー、そしてキャラは遠慮なく貫してノスタルジックを匂わすナンバーが枚挙に繰り出される。「なんとなく物語が隠されてそうでしょ?」とヴォーカル兼ギター、そして作詞作曲も手掛ける加藤氏。確かにこの意味深なタイトルといい、楽曲の詩といい、その背後には何らかのメッセージが隠されていそう。と思いきや、意外にも作詞作曲はインスピレーション重視の「瞬間芸」。曲の本質は、メンバーと音を重ねていく過程で発見できるのだという。音楽理論云々では紡ぎ出すことのできない、ロボピッチャーのサウンド。多分それはリスナーにとっても同じ。噛めば噛むほど味わい深い、京都のおだしに匹敵する奥行きのある旋律と言葉がこの1枚に。

INFORMATION

ロボピッチャーCD発売ライブ「消えた3ページを探せ!」

- 日時 4月11日(日) OPEN 18:00 START 19:00
- 場所 丸太町CLUB METRO
- 料金 前売1500円 当日1800円
- 出演 ロボピッチャー、ゆーきゃん、サンプリングサン、はじめてきよし

「ロボピッチャーワンマンライブ」

- 日時 5月30日(日) OPEN 18:00 START 19:00
- 場所 京都ネガボジ
- 料金 前売1500円 当日1800円
- 問い合わせ先 075-252-8856 (京都ネガボジ)

ロボピッチャー Official Web Site <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~robopi/>